

# 令和2年度 事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 淡海環境保全財団

# 1 ヨシ群落保全事業

ヨシ群落の保全には、多くの地域住民やさまざまな団体、企業などとの協働による保全活動や、こうした活動の担い手育成に向けた普及啓発が重要になっています。

しかし、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、例年ボランティア活動を実施している多くの団体が、活動の中止や規模の縮小をされました。また、小学校のヨシ環境学習会の実施校も昨年度より減少しています。

こうした中でも、実施団体は感染防止対策を取り、工夫をしながら熱心に活動を展開されました。高島市では新たなボランティア団体も立ち上がりました。ヨシ環境学習においては、興味津々、元気に取り組む子供たちの姿が見られました。

(1) ヨシ群落維持育成事業 【県委託事業】 【予算額： 10,050千円】  
【決算額： 6,250千円】

ヨシ帯の健全な保全・育成のために刈取、ごみ収集、ヤナギ等伐採を行い、また、ボランティア活動を行う団体に奨励金を交付しました。

- ・ヨシ帯維持管理 4箇所 で1.55haのヨシ刈取を行いました。
- ・ヤナギ伐採 2箇所 で54本の伐採を行いました。
- ・奨励金 7団体によるヨシ植栽、ヨシ刈取、普及啓発等の活動に対し、878千円の交付を行いました。

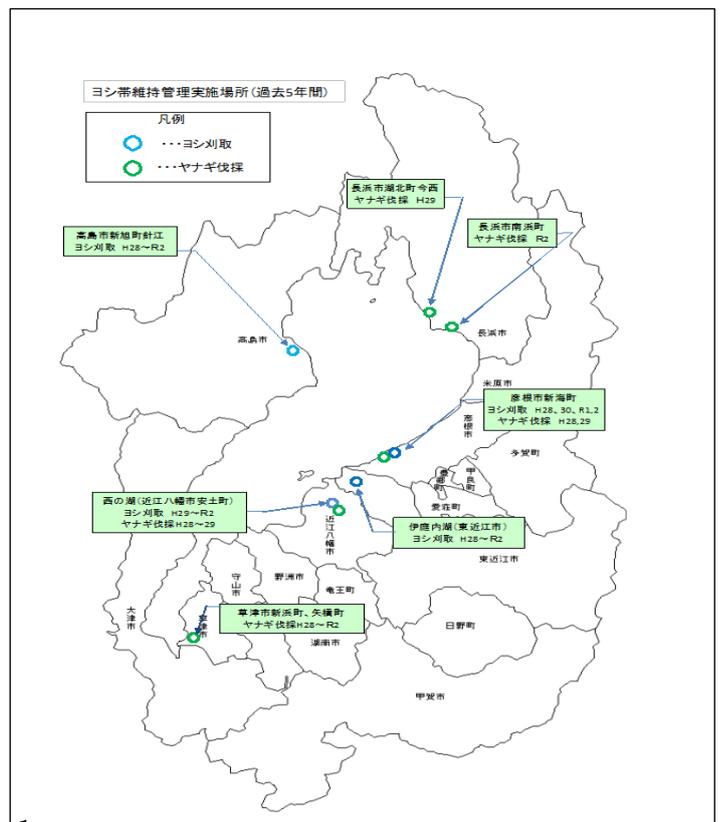
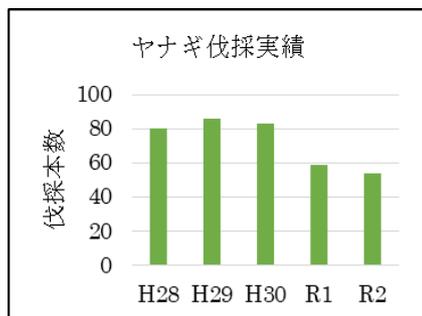
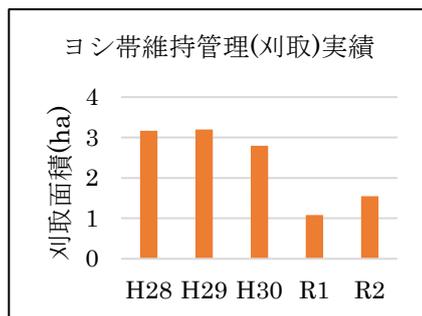
(参考) 昨年度実績 : 6団体8件、1,102千円



〈ヨシ帯維持管理 東近江市〉



〈ヤナギ伐採 草津市〉



(2) ヨシふれあい事業 [自主事業] 【予算額： 1,868千円】  
 【決算額： 1,055千円】

ヨシ群落の重要性や保全の意義を認識してもらうために、多くのヨシ保全のボランティア団体とともに、ヨシ刈りや植栽を行いました。また、財団でも、広くボランティアを募集し、ヨシ保全のイベントを開催しました。本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、例年活動を実施している多くの団体が、活動の中止や規模の縮小を余儀なくされた一方で、新しい団体によるヨシ刈りイベントが立ち上がりました。

また、本年度は令和2年度に調査を終えた日本のヨシ調査事業でのつながりを活かして、「シンポジウム ヨシの未来を考える」を開催したところ、コロナ禍にも関わらず、ほぼ定員に達する参加者となりました。

- ・(財団主催)ヨシ保全(ヨシ植)イベント 11月3日野洲市で実施 参加10名
- ・各種団体のヨシ保全活動(ヨシ植え、ヨシ刈り)現地指導  
8回実施済 (参考)昨年度実績：9回
- ・淡海ヨシシンポジウム 2月20日 草津市立市民交流プラザで開催  
一般参加者49名



〈ボランティアによるヨシ刈りの指導 高島市〉



〈シンポジウムの実施 草津市〉

(3) ヨシ環境学習推進事業 [自主事業] 【予算額： 722千円】  
 【決算額： 180千円】

ヨシ群落の重要性などを知ってもらうために、自然を大切にする気持ちの醸成と親しむ心を育むため、「小学校ヨシ学習会」を実施しました。内容は、ヨシについての座学のほか、ヨシ苗植栽、ヨシ刈り、ヨシ簾づくりなどの体験コースがあります。新型コロナの影響で申込も減少し、小学校のヨシ環境学習会の実施校は昨年度より減少しました。

- ・小学校 10校 (参考)昨年度実績：12校



〈ヨシについての座学 彦根市〉



〈児童が育てたヨシの植栽 野洲市〉

(4) 日本のヨシ情報調査事業

[自主事業]

【予算額： 683千円】

【決算額： 355千円】

ヨシ群落の保全を専門に行っている団体として、日本各地のヨシ原の情報を収集し、財団のホームページコンテンツや広報誌の充実を図り、ヨシ原に関する情報発信を行うことを目的とする事業です。調査箇所は、ラムサール条約登録湿地箇所など20箇所を対象としました。

本年度は、予定していた6箇所の調査を完了し、昨年度までの14箇所と合せて、3か年で20箇所の調査を終えました。調査内容については、広報誌「明日の淡海」等で紹介しています。



<福島潟(新潟県)>



<釧路湿原(北海道)>

(5) ヨシ苗育成事業

[収益事業]

【予算額：収入/21,670千円】

【予算額：支出/ 9,950千円】

【決算額：収入/19,643千円】

【決算額：支出/10,497千円】

ヨシ植栽事業に供するため、活着が良いヨシ苗ポットやマットの製造販売を行っています。

本年度は、ヨシ苗マットは、1,700枚の計画に対し1,618枚を販売しました。ヨシポット苗については、コロナの影響でヨシ植栽イベントの縮小や中止としたため、1,000ポットの計画に対し60ポットの販売となりました。



<親木の採取(近江八幡市)>



<ポット入れ(草津市)>

(6) ヨシ紙製作事業

[収益事業]

【予算額：/収入 2,783千円】

【予算額：/支出 4,835千円】

【決算額：/収入 2,898千円】

【決算額：/支出 4,561千円】

ヨシ群落の維持管理に伴う派生物の有効利用を図るとともに、琵琶湖の生態系におけるヨシの重要性を広くPRするために、刈り取ったヨシを活用したヨシ紙の製造販売を行っています。

本年度は最厚口全紙16,000枚を製造しました。最厚口全紙6,100枚、最厚口A4サイズ8,160枚、厚口A4サイズ6,380枚等を販売しました。

(7) ヨシ腐葉土製作事業 [収益事業]

【予算額：/収入 815千円】

【予算額：/支出 811千円】

【決算額：/収入 596千円】

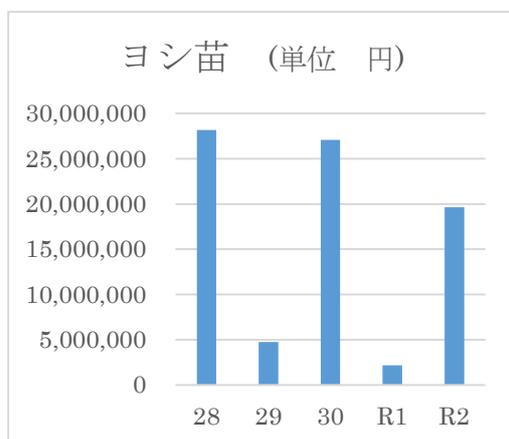
【決算額：/支出 578千円】

ヨシ群落の保全を図る目的で支援しているヨシ刈りボランティアの派生物を有効利用するため、ヨシ腐葉土、ヨシチップの製造販売を行っています。

本年度は、ヨシ腐葉土200入りを895袋製造し、788袋を販売しました。

● ヨシ製品年度別販売額 (単位 円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ヨシ苗	28,166,965	4,752,000	27,086,400	2,162,020	19,643,800
ヨシ紙	2,828,826	2,621,915	3,848,306	1,430,646	2,884,504
ヨシ腐葉土	663,299	738,672	918,711	618,827	649,911



## 2 自然保護・環境保全事業

自然保護・環境保全事業においても、新型コロナウイルスの影響を少なからず受けました。マザーレイクフォーラム事業では、オンラインを主体とし、開催時期・場所を分散させた「新しい開催様式」により実施しました。また、ラムサールびわっこ大使事業でも、開催時期をずらすとともに、感染対策を取りながらの実施となりました。

こうした状況の中、琵琶湖の環境保全に重要な役割を果たしている水草刈取管理業務や、本年度新規事業の滋賀グリーンディール研究会運営サポート業務にも鋭意取り組みました。

(1)水草刈取管理業務 [県等委託事業] 【予算額： 114,413千円】  
【決算額： 124,172千円】

琵琶湖等で異常繁茂する水草の刈取や除去の計画を作成し、刈取除去業者への指導管理から、水草の揚陸、運搬、有効利用等を実施するものです。

本年度は、刈取った水草を堆肥化するための従来の有効利用地が、土地の所有権移転に伴い退去を余儀なくされ、新たな用地の確保と整備を行う必要が生じたことから、刈取の開始が例年より約2カ月遅れ、6月下旬からとなりました。

### 水草揚陸運搬業務

琵琶湖南湖に繁茂する水草に対し、表層刈取りあるいは根こそぎ除去の施工管理と、刈取除去された水草の揚陸、津田有効利用地(近江八幡市)への運搬を行いました。

#### 近年の水草揚陸量



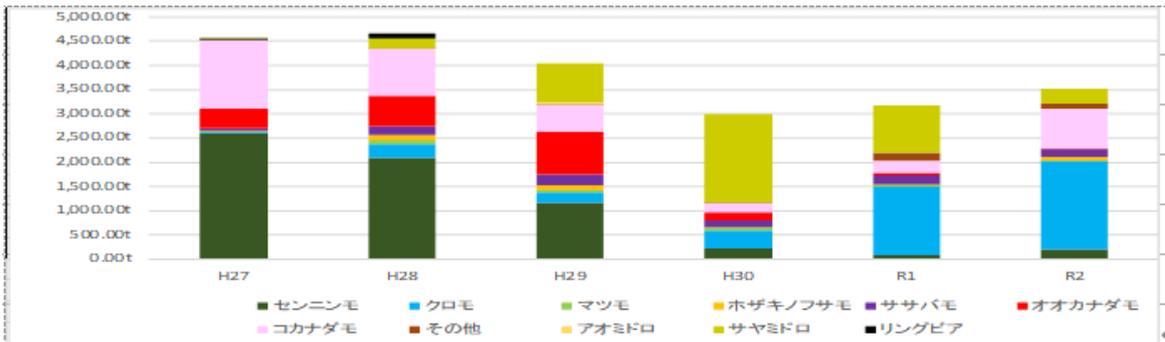
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
揚陸全量	7,211.39t	6,525.50t	5,162.00t	5,343.00t	5,476.56t
沈水植物	6,904.19t	5,672.71t	3,336.74t	4,353.65t	5,162.17t
糸状藻類	307.20t	852.79t	1,825.26t	989.35t	314.39t
糸状藻類率	4.26%	13.07%	35.36%	18.52%	5.74%

<水草揚陸量の推移(平成28年度～令和2年度)>

#### ・令和2年度琵琶湖南湖水草の概況

令和2年度は梅雨明けが遅れたことから、初夏まで透明度が悪く、繁茂した水草はかなり少ない状況でした。しかし、その後の透明度の回復で、クロモなどの水草が繁茂して、糸状藻類を含む令和2年度の水草の揚陸量は、平成30年度や令和元年度よりやや増加しました。

このうち、平成30年度に多く揚陸された「糸状藻類」は、令和2年度は、有効利用地移転に伴い、例年繁茂がみられる春から初夏に根こそぎ除去が行われなかったこと、夏以降は水草が繁茂したことにより、揚陸量としては大きく減少しました。



＜水草種別揚陸量年度別推移（根こそぎ除去目視調査より）＞

・有効利用地移転整備

令和2年度は、前述の通り、従来の有効利用地から退去し、新たな用地の確保と整備を行いました。新有効利用地は、6月から1月の間に、区画を区切って順次整備を行いました。



＜水草有効利用地位置図＞

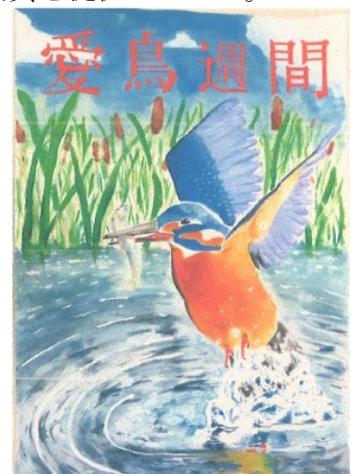
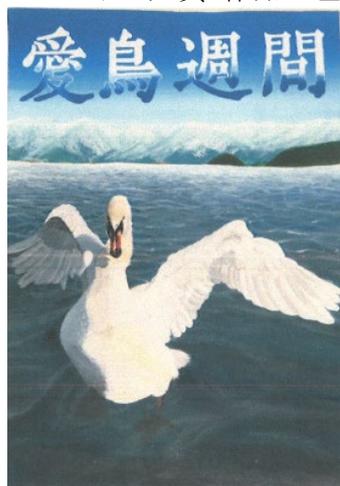
(2) 自然保護啓発事業

[自主事業]

【予算額： 95千円】

【決算額： 83千円】

滋賀県愛鳥週間ポスターコンテストの入賞3作品に理事長賞を提供しました。



＜令和2年度理事長賞提供作品＞

(3) ススキふれあい事業 [自主事業] 【予算額： 272千円】  
 【決算額： 1,009千円】

伊吹山系のススキ原の重要性を伝え、生物多様性保全をはじめとする意識の向上をはかるため、ススキ刈りイベントを実施しました。

(財団主催) ススキ刈りイベント 11月14日実施 参加32名



〈ススキ刈りボランティア状況〉

(4) マザーレイクフォーラム事業 [県委託事業] 【予算額： 1,980千円】  
 【決算額： 1,474千円】

マザーレイクフォーラムびわコミ会議の運営と情報交換ページの保守等を行いました。

「びわコミ会議」は例年8月にコラボしがで開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえてWEB上での開催となりました。11月1日～3月31日までの間に、例年の「分科会」に相当する13回の企画が実施され、そのうち4回は、2021年7月の策定が予定されている琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ」づくりを目的として開催されました。

資料提供

提供年月日:令和2年(2020年) 月 日  
 マザーレイクフォーラム運営委員会  
 琵琶湖増進部琵琶湖保全再生課 一伊達  
 電話:077-528-3466  
 E-mail:dk00@pref.shiga.lg.jp

びわコミ会議 2020 開幕!  
 ~今年はオンラインで実施します~

琵琶湖やその周辺のみならずフィールドで環境保全活動に取り組む県民・市民団体・企業・行政・専門家などが、立場を超えてお互いの経験や思いを共有し、琵琶湖の将来のために話し合う「マザーレイクフォーラムびわコミ会議」を、今年はオンラインで開催します。

びわコミ会議では、これまで、午前を琵琶湖の現状に関する報告会、午後を各テーブルに分かれてのワークショップ形式で実施してきました。COVID-19の状況下、今年度のびわコミ会議は、オンラインを主体として、開催時期・場所を分散させた「新しい開催様式」により開催します。

- びわ湖の現状に関する報告は YouTube での動画で配信します。
- テーブルに分かれてのワークショップは主にオンラインで行います。

1. 主催  
 マザーレイクフォーラム運営委員会、滋賀県

2. 開催時期  
 令和2年(2020年)11月1日から開次、動画の配信とワークショップを行います。  
 ※裏返スケジュール参照

3. 参加方法  
 動画は、YouTube「マザーレイクゴールズ channel」で配信しますので、どなたでもご覧いただけます。  
 オンラインワークショップは、**事前申し込みが必要なもの**については、①参加したいワークショップ ②氏名 ③所属 ④連絡先 ⑤住所(市町村名まで)を記載し、メールで琵琶湖琵琶湖保全再生課までご連絡ください。並って参加するためのURLをお送りします。

申し込み先メールアドレス dk00@pref.shiga.lg.jp



〈プレスリリースしたオンラインテーブルに関する開催の様子〉

(5) ラムサールびわっこ大使事業 [県委託事業]

【予算額：2,028千円うち県委託1,956千円】

【決算額：1,975千円うち県委託1,955千円】

湖国の未来を担う子どもたちの成長を育むことにより、滋賀県の環境保全の取り組みのさらなる発展を促進させる次世代のリーダー育成を目指します。

- ・県内小学生より選ばれた8名のラムサールびわっこ大使に対し計3回の「事前学習会」を実施し、「琵琶湖をめぐる農業・漁業の現場から『自然と共生する暮らし』を学ぶ」をテーマに学習・体験の機会を提供しました。
- ・「県外派遣」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の秋の実施から時期をずらし、2021年2月5日～7日に兵庫県豊岡市の訪問を予定していましたが、兵庫県下への緊急事態宣言の発令により中止となりました。
- ・副知事への活動報告会は3月6日（土）に琵琶湖博物館で実施しました。



<第1回、第2回事前学習会の様子>

(6) 滋賀グリーンディール研究会運営サポート業務 委託事業 【予算額： 0千円】

【決算額： 200千円】

滋賀経済同友会の令和2年度事業「滋賀・グリーン2020～自然と社会が調和する滋賀の未来～」に基づく「滋賀・グリーンディール研究会」においてサポート業務を行いました。

研究会におけるファシリテーターの他、2021年3月26日に発表された政策提言「人と自然が交わる滋賀・グリーン経済宣言」の策定を支援しました。



<研究会の様子>



<発表された宣言文>

### 3 地球温暖化防止活動事業

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、今年度はイベントや出前講座の中止が相次ぐなど、対面での普及啓発活動が中心である温暖化防止活動において、事業の推進が非常に厳しい状況となりました。県受託の2事業においては、イベント啓発活動回数や出前講座件数の計画減など、年度途中での仕様変更を協議した結果、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメント」の普及促進事業など、新たな事業を実施しました。

そのような中、動画およびYouTube 配信を活用した各種講座および推進員研修の実施、Web 会議ツール「ZOOM」を活用した「うちエコ診断」や地域グループ会議の実施など、創意工夫をしながら新たな方法を取り入れ、取組みを拡大しました。

#### (1) 地球温暖化防止活動推進センター活動事業

【県委託事業】【予算額：8,520千円】

【決算額：7,700千円】

温暖化対策法に基づき、県が指定した滋賀県地球温暖化防止活動推進センターとして、滋賀県地球温暖化防止活動推進員と協力し、しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ推進支援を行うなど、幅広く普及啓発活動を行いました。

#### ・夏休み自由研究講座

「エコな食事メニューを考えよう」・・・オンライン配信を行い、身近な「食」から地球温暖化を家族で考える機会を提供しました。また、取組結果を提出してもらい、成果についても把握することができました。

「ソーラーカー工作教室」・・・ソーラーカー工作を通じ、再生可能エネルギーについて親子で学んでもらいました。

#### ・自主開催イベント

イオンモール草津において、「VRシアター」「エコドライブシュミレーター」といった啓発グッズを活用した体験型のイベントを開催し、「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」の賛同に結びつけました。(来場者数：250名)



<自由研究講座 動画撮影>

<提出された取組結果>

#### ・しがCO<sub>2</sub>ネットゼロまちづくりの推進

県内の3地域において、企業等と連携して脱炭素型のまちづくりを推進し、認知から行動への変革を促す取組みを行いました。

## (2) 省エネ・節電行動実践促進事業

【県委託事業】【予算額：2,150千円】

【決算額：2,145千円】

市町や団体等と連携して、「省エネ・節電提案会」の開催および環境省のPCソフトを用いた「うちエコ診断」を通じて、家庭における省エネ・節電行動の啓発促進を図りました。

### ・うちエコ診断

計画の100件に対し、104件の診断を実施し、受診家庭の具体的な省エネ・節電行動とCO<sub>2</sub>削減の提案を行いました。

ー省エネ・節電提案会開催回数：20回実施（計画 20回）

ーうちエコ診断件数：ZOOM診断28件＋対面診断76件

実績 計104件（計画 100件）

### ・うちエコ診断士のスキルアップ研修

感染症対策を踏まえ、オンラインで実施するZOOM診断を取り入れて研修を行いました。



<ZOOMによるスキルアップ研修>



<感染症対策をした対面診断>

## (3) 地域における地球温暖化防止活動促進事業

【国等補助事業】 【予算額：5,500千円うち補助事業4,950千円】

【決算額：5,140千円うち補助事業4,590千円】

温暖化対策法に基づき、エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に資するため、全国センターが交付し、地域温暖化防止センターが実施主体となる、環境省の補助事業を実施しました。

・若者が発信し若者に訴求する、新しいカタチの温暖化防止啓発の支援  
若年層へ直接働きかけ、自ら発信、拡散してもらうことにより、それを見た若者が実践し、その実践行動をさらにSNSで拡散するよう、動画制作等を支援しました。

動画4本制作（大学生等の3チームが参加）

### ・クールチョイス啓発

滋賀県内での認知を促進し、賛同票の回収および啓発後の行動変容を調査しました。

・「省エネ・脱CO<sub>2</sub>まちづくり」推進実践モデル事業

桐原学区協働まちづくり協議会との協働により、昨年引き続き「省エネ・脱CO<sub>2</sub>まちづくり」推進実践モデル事業として地域課題解決のためのアンケート調査の実施や、シンポジウムを開催するなどし、地域住民の温暖化防止の主体的取組み支援を行いました。

・その他

推進員グループ活動への支援、民間団体への後援・協賛等を行うほか、生徒や学生などにも相談・助言・提案を行うなど、幅広い支援を実施しました。



<まちづくりアンケート>



<桐原シンポジウム>

(4) 低炭素社会づくり学習支援事業

【県委託事業】 【予算額： 2,700 千円】

【決算額： 2,695 千円】

低炭素社会づくりに関する環境学習を推進し、また、その推進のための人材を育成しました。

・出前講座の実施

実施講座：62講座（学校24講座 地域38講座）

・新しい講座動画の制作とオンライン講座の実施

気候変動による影響等に関する新しい動画を3本制作するとともに、YouTubeに掲載しました。また、滋賀県琵琶湖環境部環境政策課と立命館大学との協働により開催している「びわ湖の日」連続講座において、オンライン講座を実施しました。

・出前講座実施者の育成

出前講座を実施する推進員の育成に重点を置き、具体的なプログラム体験を実施するとともに、動画マニュアルを2件作成しました。



<稲枝小学校出前講座>



<あいしょう学びの広場出前講座>

(5) 地球温暖化防止啓発事業

【自主事業】【予算額：3,450千円】

【決算額：3,260千円】

矢橋帰帆島においてメガソーラー発電事業を行う企業体からの環境啓発活動支援協力金を活用し、より幅広い県民層を対象として、分かりやすく、楽しく地球温暖化問題について啓発を行いました。

・「クールチョイス」ポスター募集

地球温暖化防止「クールチョイス」ポスター図案を県内小中高生から募集し、301点の応募作品から12点を選定し、滋賀県知事賞、京セラ賞、東京センチュリー賞、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター長賞等として表彰しました。

・「クールチョイス」ポスター入賞者表彰式およびイベント開催

表彰式とあわせて、気象予報士天達武史さんのお話と公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）上席研究員の藤野純一氏も登壇の上、質疑応答など会場参加型のトークショーを開催し、一緒に温暖化防止とクールチョイスについて考えました。

・「クールチョイス」カレンダーの作成

入賞作品で「2021 しがクールチョイスカレンダー」を作成し、市町、学校、図書館、公民館等へ配布しました。



<表彰式での記念撮影>

<表彰式・イベントチラシ>

・2020年度滋賀県地球温暖化防止「COOL CHOICE (クールチョイス)」ポスター 入賞作品



最優秀賞・滋賀県知事賞

林 瑛音さん 滋賀県立草津養護学校高等部 2年  
特別賞

<p>京セラ賞</p> <p>近藤 優有さん 彦根市立高宮小学校1年</p>	<p>東京センチュリー賞</p> <p>羽尻 優奈さん 滋賀県立水口東中学校2年</p>	<p>滋賀県地球温暖化防止 活動推進センター長賞</p> <p>野村 未来さん 滋賀県立水口東中学校2年</p>
--	--	--

優秀賞

<p>湯浅 友梨香さん 草津市立 志津南小学校1年</p>	<p>草野 奏羽さん 米原市立 伊吹小学校4年</p>	<p>中川 果乃さん 大津市立 逢坂小学校4年</p>	<p>眞田 伊織さん 近江八幡市立 安土中学校1年</p>
<p>高岡 優羽さん 滋賀県立 水口東中学校1年</p>	<p>南野 眺慧さん 滋賀県立 水口東中学校1年</p>	<p>李 美祺さん 滋賀県立 水口東中学校3年</p>	<p>佐々木 蒼依さん 滋賀県立 栗東高等学校3年</p>

(6) 気候変動適応推進事業

【県委託事業】 【予算額： 3,000 千円】

【決算額： 3,000 千円】

気候変動適応策を推進する啓発活動を実施しました。

・気候変動リスク講習会・訓練

水災害のリスク回避や予防(適応策)を学ぶための講習会・訓練を企画調整し、今浜自治会、桐原学区協働まちづくり協議会で開催しました。

・「まち探検」を通じた「気候変動影響マップ」作成

今浜自治会・子ども会と連携して、役員や保護者も一緒に9/27に小学6年生による「まち探検」を実施し、「気候変動影響マップ」を作成しました。また、そのマップを自治会館に展示するとともに、気候変動リスク講習会を開催し、「まち探検」の様子とともに紹介しました。

・適応策を考えるためのワーキング支援

県内で生じている気候変動影響の事例や適応策等について話し合うワーキングを4回実施しました。



<水災害プログラム実施の様子>



<適応ワーキングの様子>

(7) 滋賀エコ・エコノミー推進事業

【県委託事業】 【予算額： 826 千円うち県委託事業 726 千円】

【決算額： 826 千円うち県委託事業 726 千円】

事業者が行う低炭素社会づくりに寄与する事業や二酸化炭素排出削減につながる取組みを促進するため、事業者向けセミナーの開催およびホームページでの情報発信を行う事業です。滋賀経済界と県が環境成長経済の進展による雇用創出と事業革新を目指して設立した滋賀エコ・エコノミープロジェクトから当財団に行われた寄付を基に実施してきました。令和2年度は、本寄付金および滋賀県から受託したエコ・エコノミー推進事業業務の委託費を含めて実施しました。

滋賀県委託事業では、事業者向けセミナーを、「2050年までに県域からの二酸化炭素排出量を実質ゼロにする」機運を県民の方々と共有するため、滋賀県と共催で“しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”シンポジウムとして開催しました。

実施事業

- ・令和2年度“しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”シンポジウム・第7回エコ・エコノミー推進セミナーの開催
  - 開催日 : 12月12日(土)
  - 開催場所 : 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール小ホール
  - 開催テーマ : CO<sub>2</sub>ネットゼロで変わる2050年「滋賀」の暮らしと社会
  - 基調講演講師 : 千葉商科大学 田中信一郎 准教授
  - 特別講演講師 : 東京大学 高村ゆかり 教授
  - 参加者 : 68名
- ・事業所出前講座 実施 2回(計画 10回)



<シンポジウムの開催>



<事業所出前講座>

(8) スマート・エコハウス普及促進事業[県補助事業]

【予算額 : 53,500千円】

【決算額 : 53,430千円うち県補助金 53,300千円】

家庭においてエネルギーを「減らす」「創る」「賢く使う」取組みを総合的に広め、再生可能エネルギーの普及拡大と、徹底した省エネ(節電)の推進を図るため、個人用既築住宅において太陽光発電システムの設置や自立分散型エネルギーシステム等の省エネ・創エネ設備(高効率給湯器・蓄電池等スマート・エコ製品)の設置を行った方に対し、滋賀県の補助金を基に、その導入に要する経費の一部を助成しました。

交付  
補助金額  
47,520千  
円

	機器別補助件数					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
太陽光発電	688	341	249	191	237	265
太陽熱利用	-	3	2	-	-	1
給湯器	80	37	726	418	260	254
エネファーム	4	33	43	26	44	168
蓄電池	95	168	131	265	446	430
V2H	-	-	-	1	1	4
窓断熱設備	-	-	-	-	4	6
合計	867	582	1,151	901	992	1,128
補助金申請金額	38,106,000	35,221,000	41,860,000	45,080,000	44,560,000	47,520,000

※補助金申請額上限 H27~H30は15万、R1~R2は10万

(9) 7.1 びわ湖の日 2020 オフィシャルパートナー事業

[自主事業] 【予算額： 325 千円】

【決算額： 330 千円】

人気キャラクター「野洲のおっさん」の琵琶湖一周行脚の公式スポンサーとなり、啓発を行いました。

- ・特集1分CM 1回放送
- ・スポットCM 30秒(20回)、60秒(5回)等、財団名掲出等による情報発信を行いました。



<啓発CM撮影の様子>

#### 4 水質保全に関する事業

これまで公共下水道分野で培ってきた経験と技術を次世代に継承するための技術支援をはじめ、下水汚泥の有効利用による下水道リノベーションの推進、新技術情報発信や共同研究による水環境ビジネスの支援および下水道の海外展開による国際貢献などの「淡海環境プラザ事業」を実施しました。

##### (1) 公共下水処理管理技術支援事業

【県委託事業】 【予算額： 11,705 千円】

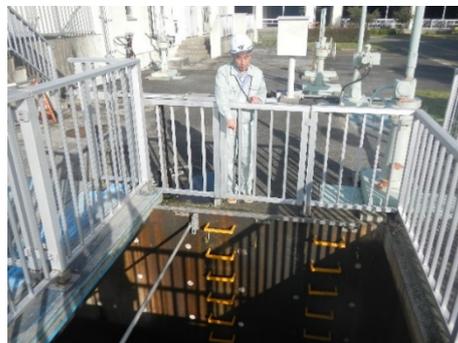
【決算額： 12,237 千円】

県の各下水処理場（4浄化センター）に、週2回職員を派遣し、施設の適切な運転管理、水質管理のため、専門的な立場から指導、助言を行うとともに、技術的支援を行いました。

本年度前半は新型コロナウイルスの感染拡大により、下水処理場に訪問できない期間がありましたが、水質データ等を送付してもらい、出来る限りの指導・助言に努めました。



< 湖南中部浄化センターでの現場支援 >



< 高島浄化センターでの現場支援 >

##### (2) 普及啓発事業

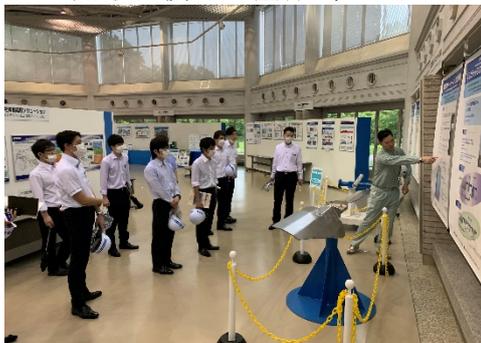
【県委託事業】 【予算額： 9,211 千円】

【決算額： 11,143 千円】

###### ・施設案内

行政、研究機関、海外および一般の浄化センターの見学において、下水道のしくみ、処理状況等の説明を行い、琵琶湖の環境（水質保全）を支えている下水道の大切さの普及啓発を実施しました。

見学実績：20 団体 1,268 人



< 住友重機械エンバイロメント（株）新人研修 >



< 小学校の淡海環境プラザ見学 >

- ・広報誌の発行

下水道に関する知識および情報等を掲載した広報誌「碧い湖」を年に2回発行し、公民館、図書館、金融機関等広く県内に配布しました。

第57号 令和2年9月発行 13,000部

特集：「下水が生み出すエネルギー」

第58号 令和3年3月発行 13,000部

特集：「身近な下水道「マンホール」のあれこれ」



- ・普及啓発イベントの開催

コロナ禍の影響により夏季を中心に開催を予定した啓発イベントがすべて中止となりましたが、「滋賀けんせつフェスタ2020」が11月28日に大津港前イベント特設会場で開催されることになり、下水道の啓発ブースを出展しました。

ブースでは、多くの子どもたちに模型を使った下水道管の敷設体験などをしていただきました。

ブース参加者：約400人



<模型での下水道管敷設体験>



<下水マンホール缶バッジ作成>

- ・マンホールカードの配布

マンホールカードは、地域特有のマンホール蓋をモチーフに、下水道の広報を目的とする団体「下水道広報プラットフォーム」と全国の自治体が共同で企画・監修する世界初のマンホール蓋のコレクションカードで、当財団では、淡海環境プラザで滋賀県流域下水道のマンホールカードを平成28年8月から希望者に配布しています。本年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴うプラザ閉館等の影響もあり、対前年比で42%の減少となりました。

平成28年8月～ 延べ配布枚数6,671枚



＜滋賀県流域下水道マンホールカード＞

＜6,000枚配布記念品贈呈(9月16日)＞

### (3) 高島汚泥コンポスト利活用推進事業

【県委託事業】【予算額： 0千円】

【決算額： 28,317千円】

滋賀県では下水道を有効な資源として捉え、高島浄化センターから発生する下水汚泥のコンポスト化（肥料化）事業を検討しています。

下水汚泥コンポスト製品の利活用を円滑に進めていくためには、利用者が安全性や肥効を確認して使用の判断ができるよう必要な試験を行い、関連データを整理するとともに、計画的な普及啓発により地域住民の理解を深め、コンポスト製品を受け入れてもらえる環境の整備が必要となります。

当財団は水草堆肥の製造および普及啓発の実績があることから、滋賀県より委託を受け「高島汚泥コンポスト利活用推進事業」に取り組みました。コンポストの試験製造、成分分析、栽培試験による有効性・安全性の確認、さらに県・市関係各課および事業者等と連携したコンポストの利活用推進計画策定を行いました。



＜堆肥化施設でコンポスト試験製造＞



＜製造コンポスト＞

<混合バイオマス試験>



高島下水汚泥

+



水草等の副資材  
(地域バイオマス)



小型コンポスト試験装置



<試験栽培圃場(高島浄化センター内)>



<栽培したコマツナ>

(4)技術講習、セミナー開催事業

[県委託事業] 【予算額： 3,320 千円】

【決算額： 1,313 千円】

下水道の機能とその実態についての知識の習得と技術の向上を図るとともに、日常の維持管理に必要な情報提供のため、公共下水道を管理する市町職員を対象に技術講習会等を開催しました。

・市町下水道技術講習会

第1回 10月12日

テーマ：「浸水被害と下水道」

「下水道BCPのマニュアル改定」

参加者：40名（WEB参加含む）

第2回 3月4日

テーマ：「管路管理の最新技術」

参加者：26名（WEB参加含む）



<第1回技術講習会の様子>

・下水道サロン（技術の継承、県と市町・市町同士をつなぐ交流の場づくり）

11月16日

テーマ：「普及啓発」

大津市企業局の広報事例紹介

市町のノウハウの共有

参加者：17名（WEB参加含む）



(5)技術指導支援事業

[自主事業] 【予算額： 618 千円】

【決算額： 0 千円】

本年度は、ベトナム国ハロン市水環境改善事業（円借款事業）および新たな J I C A 草の根技術協力事業のためのカンボジア現地調査を実施する予定でしたが、新型コロナ感染拡大による渡航制限等の影響により、これらの事業を実施することができませんでした。

ベトナム国ハロン市水環境改善事業は、日本の円借款によりベトナム・ハロン市において大規模な下水道を整備するもので、この事業の施工管理業務に応札を予定している日本企業に対して、滋賀県と連携して専門家による事業への支援の提案を行いました。未だ施工管理業務の入札が行われていない状況です。今後のコロナ感染状況にもよりますが、同社が施工管理業務を受注した際に当財団が窓口機関となり、滋賀県と連携のうえ運転管理・維持管理の専門家の派遣業務を行う予定です。

カンボジア現地調査については、カンボジアから一時帰国中の J I C A 派遣専門家との打合せ等により現地ニーズの把握に努めてきました。現在県と連携して、政府関係者とのリモート会議開催に向け、現地情報の収集を行っています。なお、新規案件形成には現地調査が不可欠となるため、今後のコロナ感染状況に応じて、しかるべき時期に調査派遣を実施する予定です。

(6)新技術研究開発支援事業

[県委託事業]

【予算額 :3,600 千円うち 1,800 千円県委託事業】

【決算見込額:3,742 千円うち 1,607 千円県委託事業】

企業が新技術開発の目的で実証実験等を行うためのフィールドを提供するとともに、企業等が研究に必要とする試料等を提供し、その調整、指導、助言による支援を実施しました。

積水化学工業（株）

「水処理膜実証テスト」

（H29 年 8 月 1 日～R3 年 3 月 31 日）

（株）石垣

「ハイブリッド型圧入式スクリープレス  
脱水機脱水試験」

（R2 年 9 月 28 日～R2 年 10 月 9 日）



(7) 新技術普及促進支援事業

[県委託事業] 【予算額：2,145千円】

【決算額：1,646千円】

淡海環境プラザでの企業等の技術・製品等の展示の支援を行い、来館者に対して展示内容の紹介等の技術情報の発信を行いました。

本年度は、新規展示として日本ジッコウ（株）が「マンホール更生工法・防食工法」の展示を行い、日本メンテナンスエンジニアリングと（株）日吉が展示リニューアルを行いました。

また、下水道をはじめとする幅広い水環境分野の新技術情報を提供する水環境技術データベースに4件の技術情報の登録を行いました。



対象分類 Objects	対象小分類 Objects (Sub)	活動分類 Activities	産業系 Provider	技術名称 Name of Technologies/Services
E-汚泥処理	1.有機性汚泥	05_設備・機械	〇〇環境エンジニア!	下水汚泥からの水素製造
E-汚泥処理	1.有機性汚泥	05_設備・機械	〇〇工業	下水汚泥からの高効率メタン製造
E-汚泥処理	1.有機性汚泥	05_設備・機械	〇〇機械	下水汚泥からの高効率メタン製造
E-汚泥処理	1.有機性汚泥	05_設備・機械	〇〇産業	下水汚泥からの高効率メタン製造
E-汚泥処理	1.有機性汚泥	05_設備・機械	〇〇機工	下水汚泥燃料の製造

<技術展示（日本ジッコウ（株））>

<水環境技術データベース（日本語版/英語版）>

(8) 施設の維持管理事業

[県委託事業]

【予算額：15,327千円】

【決算額：20,555千円】

淡海環境プラザへの来館者が、良好な環境で見学できるように、また、企業展示の維持管理のため、日常点検や定期点検を実施し、施設の維持管理を行いました。

5 環境情報発信事業

[自主事業]【予算額： 2,541千円】

【決算額： 2,252千円】

財団の活動を広く一般に周知し、琵琶湖をはじめとする環境保全に関する普及啓発を行うため、次の情報発信を行いました。

・メールマガジンの発行

財団のイベント案内や財団業務のタイムリーな PR のため、定期的にメールマガジンの配信を行いました。

(実績 9回)

また、温暖化防止センターより月 1 回の「センターだより」、ならびに他団体の情報を配信する「情報提供版」の送信を行いました。

(実績 センターだより：12回、情報提供版：36回)



・ホームページの更新

財団のイベント案内や開催状況等、様々なお知らせについて、適宜 WEB サイトの更新を行いました。

アクセス数(3/31 現在)

財 団：79,511

センター：15,408

プラザ：6,677



・広報誌「明日の淡海」の発行

財団の関与した事業の紹介や、様々なお知らせについて発行しました。今年度は新型コロナの影響により、年 3 回の発行となりました。



主な庶務事項

理事会、評議員会の開催状況

開催年月日	事項
令和2年4月14日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 理事の選任について <span style="float: right;">（承認）</span>
令和2年4月21日	評議員会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 理事の選任について <span style="float: right;">（承認）</span>
令和2年6月8日	第1回理事会を開催 於：滋賀県農業教育情報センター 1階 第1研修室 （議事事項） 1. 副理事長の選定について <span style="float: right;">（承認）</span> 2. 令和元年度事業報告の承認について <span style="float: right;">（承認）</span> 3. 令和元年度決算の承認について <span style="float: right;">（承認）</span> 4. 評議員会の招集について <span style="float: right;">（承認）</span>
令和2年6月26日	第1回評議員会を開催 於：滋賀県農業教育情報センター 1階 第2研修室 （議事事項） 1. 令和元年度決算の承認について <span style="float: right;">（承認）</span> 2. 評議員会の選任について <span style="float: right;">（承認）</span> 3. 理事の選任について <span style="float: right;">（承認）</span> 4. 監事の選任について <span style="float: right;">（承認）</span> （報告） 令和元年度事業報告について 令和2年度事業計画ならびに予算について

令和2年7月3日	理事会を開催（決議の省略） （議事事項） 1. 理事長・副理事長選定の件 （承認）
令和3年1月29日	第2回理事会を開催 於：滋賀県農業教育情報センター 1階 第2研修室 （報告） 1. 事業の進捗状況について 2. 令和2年度の収支見通しについて 3. 中期経営計画の策定について
令和3年3月25日	第3回理事会を開催 於：大津合同庁舎 7階 7-C会議室 （議事事項） 1. 令和3年度事業計画書(案)の承認について （承認） 2. 令和3年度収支予算書(案)の承認について （承認） 3. 令和3年度資金調達および設備投資の見込みの承認について （承認） 4. 公益財団法人淡海環境保全財団規程の改正について （承認）  （報告） 1. 令和2年度収支見通しについて （協議事項） 1. 中期経営計画（素案）について

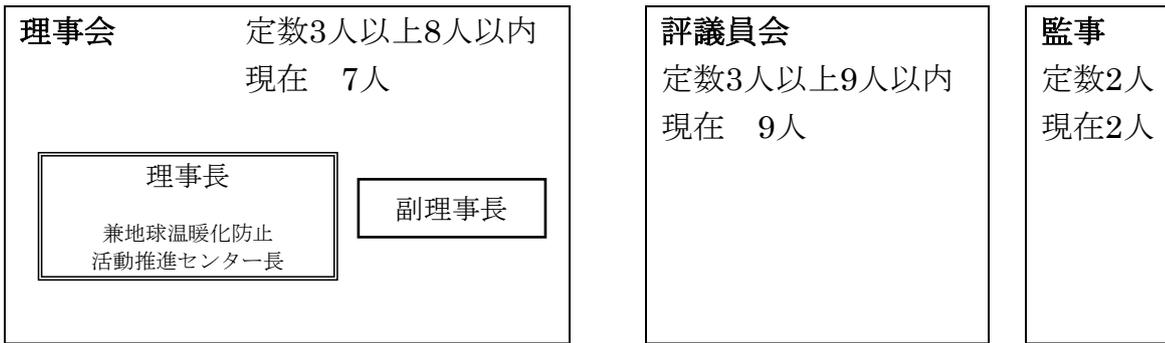
#### 登記関係

年月日	事項
令和2年4月27日	理事の変更登記 （1名辞任、1名就任）
令和2年8月 3日	評議員、代表理事、理事、監事の変更登記 （17名重任、2名新任、1名退任）

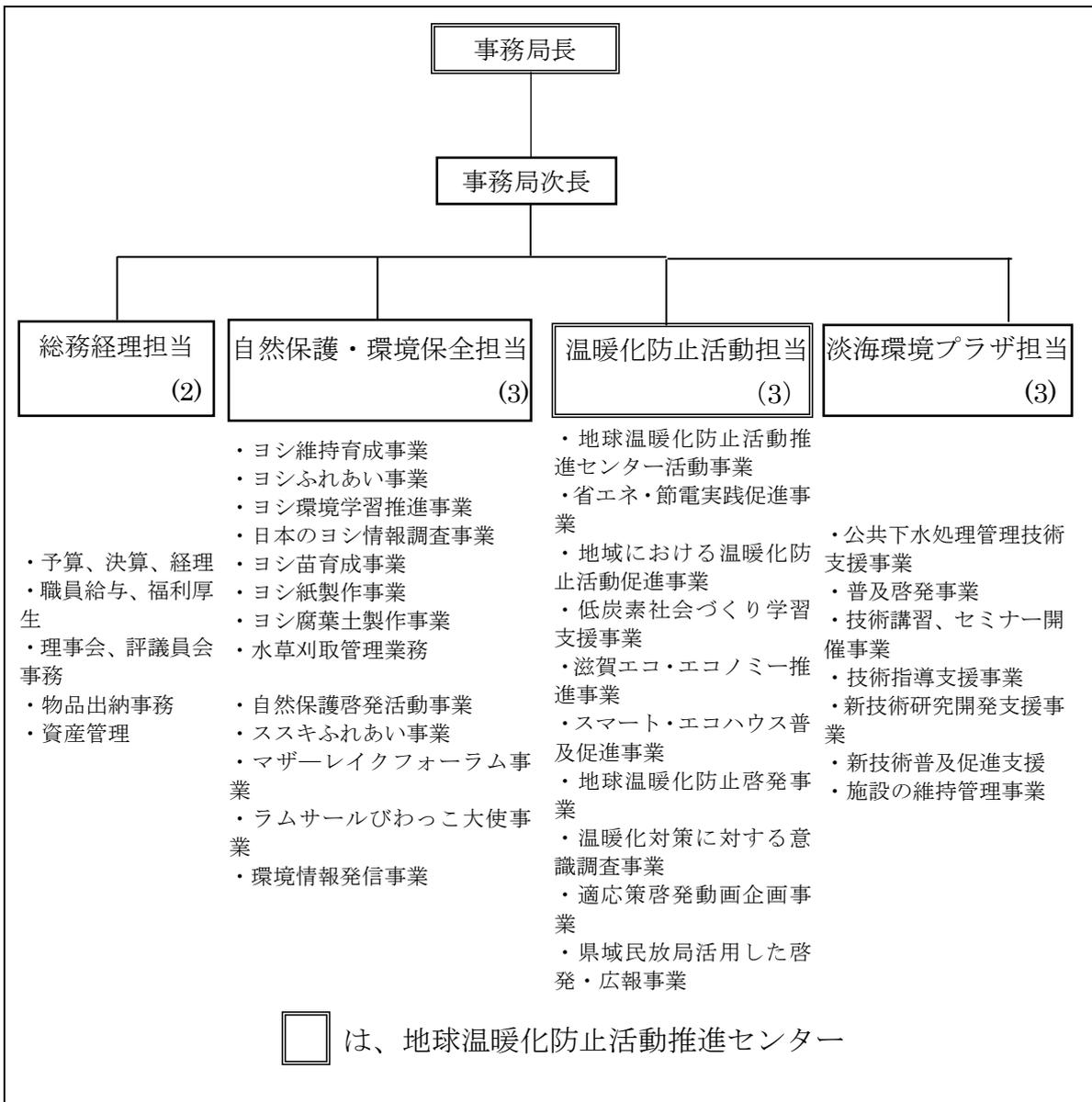
#### 検査監査関係

年月日	事項
令和2年5月15日	監事予備監査
令和2年5月22日	監事監査

組織および所管事業(R3年3月31日現在)



事務局



# 令和2年度 附属明細書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 淡海環境保全財団

# 事業報告の附属明細書

## ヨシ群落保全事業関連

### 1. 令和2年度 ヨシボランティア活動助成実績

No.	団体名	活動名	活動月日	活動場所	活動面積	参加人数	奨励金(円)	活動種別
1	びわこ高島の葦を守る会	高島市ヨシ保全活動	12/5(土)	高島市 新旭町針江	2,000㎡	20人	50,000	ヨシ刈 2,000㎡～
2	市民自然観察会	ヨシ刈り体験	12/10(木) ～3/11(木)	近江八幡市 北之庄町	3,000㎡	35人	32,000	
3	近江舞子内湖を愛する会	近江舞子内湖を愛する会主催ヨシ刈り	12/12(土) ～3/6(土)	大津市 南小松	3,000㎡	90人	50,000	
4	草津ヨシ松明まつり実行委員会	草津ヨシ松明まつりのヨシ刈	1/16(土)	草津市 下物町	2,500㎡	60人	50,000	
5	西の湖ヨシ灯り展実行委員会	ヨシ刈体験イベント	2/20(土)	近江八幡市 安土町 下豊浦	3,000㎡	65人	50,000	
6	びわ湖の水と地域の環境を守る会	びわ湖岸のヨシ群落再生・松林保全	11/7(土)	野洲市 安治	41㎡	200人	496,100	ヨシ植栽
7	西の湖ヨシ灯り展実行委員会	第14回西の湖ヨシ灯り展	9/28(土) ～9/29(日)	近江八幡市 安土町 下豊浦		312人	150,000	普及啓発
計					13,541㎡		878,100	

### 2. 令和2年度 ヨシ群落保全活動支援

No.	実施月日	活動団体名	活動場所	活動内容	人数
1	11/3	滋賀ダイハツ販売(株)	野洲市安治	ヨシ植栽	43
2	11/7	びわ湖の水と地域の環境を守る会	〃	〃	200
3	12/5	(株)滋賀銀行・損保ジャパン 他	近江八幡市安土町 常楽寺	ヨシ刈	55
4	12/5	びわ湖高島の葦を守る会	高島市新旭町針江	〃	20
5	12/12	近江舞子内湖を愛する会 他	近江舞子内湖	〃	27
6	1/16	草津ヨシ松明まつり	草津市下物町	〃	60
7	2/11	市民自然観察会	近江八幡市北ノ庄 西の湖園地	〃	21
計					426

### 3. 令和2年度 小学校ヨシ学習会 実績

NO.	学校名	学年	クラス数	人数	授業内容
1	雄琴小学校	3年生	2	54	座学のみ
2	中洲小学校	4年生	1	17	
3	城東小学校	5年生	2	52	
4	豊郷小学校	5年生	2	45	
5	玉津小学校	4年生	2	44	
6	桐原小学校	5年生	3	95	
7	能登川西小学校	5年生	1	28	座学 + すだれ編み
8	マキノ東小学校	4年生	1	13	
9	小松小学校	4年生	2	36	座学 + ヨシ植え
10	中主小学校	4年生	3	117	
合 計				501	

## 地球温暖化防止活動事業関連

### 1. イベント等啓発活動実績（目標10回）

	日付	行事名(主催者)	場所	来場者数	内容
1	8月23日	あちやはび 省エネ・節電提案会	コミュニティセンターきたの	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
2	10月17日	『“しが CO2 ネットゼロ”ムーブメント』省エネキャンペーン	イオンモール草津	250	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ、VR ゴーグ ル体験、エコドラ イブシュミレータ ー体験、うちエコ 診断、パネル展 示
3	10月20日	栗東市ZOOM講習会	大宝コミュニティセンター	14	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
4	10月25日	どうぞの会エコクイズラリー	野洲図書館	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
5	11月20日	食のお話し会	野洲図書館	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
6	11月28日	桐原まち協共同シンポジウム	桐原っ子ホール	50	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
7	11月30日	布ナプキンのお話し会(エコマルシ ェ)	宇野家	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
8	12月12日	動画鑑賞会	野洲図書館	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
9	12月12日	しがCO2 ネットゼロシンポジウム	びわ湖ホール小ホール	100	パネル展示
10	12月28日	クリーンセンター見学会	野洲クリーンセンター	20	ネットゼロ・クール チョイス賛同呼び かけ
11	2月8日	教員フローティングスクール研修会	大津港ターミナル研修室	50	教材展示、出前 講座 PR
			計	584名	

## 2. 節電・省エネ提案会実績（目標20回）

	実施日	提案会イベント名等	会場	受診者数	
				対面	ZOOM
1	6月5日	財団職員省エネ・節電提案会	淡海環境プラザ		1
2	7月4日	今浜自治会省エネ・節電提案会	今浜農業研修センター	7	
3	7月5日	今浜自治会省エネ・節電提案会	今浜農業研修センター	8	
4	7月29日	高島市職員省エネ・節電提案会	高島市役所	3	
5	7月29日	草津市職員省エネ・節電提案会	くさつエコスタイルプラザ	3	
6	7月30日	草津市職員省エネ・節電提案会	くさつエコスタイルプラザ	2	
7	8月4日	草津市職員省エネ・節電提案会	くさつエコスタイルプラザ	2	
8	8月19日	草津市職員省エネ・節電提案会	草津市役所	1	
9	8月23日	環境保護団体あちやはぴ省エネ・節電提案会	コミュニティセンターきたの	6	
10	8月24日	草津市職員省エネ・節電提案会	草津市役所	2	
11	9月16日	日野町職員省エネ・節電提案会	日野町役場	3	
12	10月17日	『“しが CO2 ネットゼロ”ムーブメント』省エネキャンペーン	イオンモール草津	9	
13	11月16日	財団職員・推進員 省エネ・節電提案会	淡海環境プラザ(ZOOM)		4
14	11月25日	うちエコ診断士スキルアップ研修会	淡海環境プラザ(ZOOM)		13
15	11月26日	財団職員・推進員 省エネ・節電提案会	淡海環境プラザ(ZOOM)		4
16	11月30日	財団職員・推進員 省エネ・節電提案会	淡海環境プラザ	4	
17	12月13日	竜王町エコライフ推進協議会省エネ・節電提案会	竜王町防災センター	5	
18	12月15日	治田東地域振興協議会省エネ・節電提案会	コミュニティセンター治田東	3	
19	1月8日	推進員省エネ・節電提案会	淡海環境プラザ(ZOOM)		1
20	2月2日	県職員・一般 省エネ・節電提案会	滋賀県庁 北新館	6	
			提案会受診者数	64	23
			提案会受診者合計数		87

## 3. うちエコ診断実績（目標 100 件）

実施月	会場診断	訪問診断	窓口診断	ZOOM診断	計(件)
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	1	1
7月	23	2	0	0	25
8月	11	1	0	0	12
9月	3	0	0	0	3
10月	9	1	0	0	10
11月	4	0	0	21	25
12月	8	0	1	0	9
1月	0	1	0	2	3
2月	6	5	1	4	16
計	64	10	4	28	104

#### 4. 低炭素社会づくり学習支援事業 出前講座実績

令和2年度実績 講座数 62 講座 (学校 24 講座 地域 38 講座)

参加者数 1,567 名

(児童 114 名 学校 658 名 地域 795 名)

参加推進員数 115 名

##### 出前講座実績

	日付	時間	行事名(内容)	場所	参加者実績 数	分類	内容
1	4月24日	20:15～ 21:30	滋賀ネットゼロのまちづくりについて	竜王町エコライフ 推進協議会	10名	地域	ア
2	6月19日	9:35～ 10:20	地球温暖化とヨシ学習 桐原小5年生2組	桐原小学校	32名	学校	カ
3	6月19日	10:25～ 11:10	地球温暖化とヨシ学習 桐原小5年生1組	桐原小学校	32名	学校	カ
4	6月19日	11:15～ 12:00	地球温暖化とヨシ学習 桐原小5年生3組	桐原小学校	31名	学校	カ
5	7月1日	10:30～ 12:00	プラスチックゴミの処理・市の 現状	ここびあ	25名	地域	オ
6	7月1日	9:55～ 10:45	びわ湖の日の取組 3年1組 「温暖化ってなあに？」	多賀中学校	26名	学校	ウ
7	7月1日	10:55～ 11:45	びわ湖の日の取組 3年2組 「温暖化ってなあに？」	多賀中学校	25名	学校	ウ
8	7月1日	11:55～ 12:45	びわ湖の日の取組 3年3組 「温暖化ってなあに？」	多賀中学校	25名	学校	ウ
9	7月3日	13:00～ 13:50	風呂敷とごみ減量 (第1グループ)	草津市老上 まちづくりセンター	24名	地域	オ
10	7月3日	14:10～ 15:10	風呂敷とごみ減量 (第2グループ)	草津市老上 まちづくりセンター	27名	地域	オ
11	7月11日	10:00～ 12:00	第1回全体研修会「環境・省エ ネ・科学をテーマとした体験型 研修」	竜王町公民館内	29名	地域	カ
12	7月13日	10:00～ 11:30	段ボールコンポスト講習会	近江八幡市 総合福祉センター	12名	地域	オ
13	7月16日	9:45～ 14:40	守山中学校 光の授業 2～6校時	守山中学校	55名	学校	ウ
14	7月17日	13:00～ 14:40	守山中学校 光の授業 5～6校時	守山中学校	55名	学校	ウ
15	7月21日	10:05～ 11:30	「びわ湖の環境」 「温暖化ってなあに？」	稲枝北小学校	15名	学校	カ

16	7月28日	9:45～ 12:20	守山中学校 風の授業 2～4校時	守山中学校	55名	学校	ウ
17	7月29日	8:50～ 12:20	守山中学校 風の授業 1～4校時	守山中学校	55名	学校	ウ
18	7月30日	14:00～ 14:50	消費者リーダー養成講座 (滋賀グリーン活動ネットワーク)	web 講座	20名	地域 (web)	イ
19	8月2日	13:30～ 14:30	段ボールコンポスト講習会	野洲図書館	10名	地域	オ
20	8月6日	13:00～ 14:00	生きているびわ湖のいのちの はなし(低学年)	Kid's & More 淡海	35名	児童	カ
21	8月6日	14:00～ 15:00	生きているびわ湖のいのちの はなし(高学年)	Kid's & More 淡海	35名	児童	カ
22	8月17日	13:00～ 15:00	地球温暖化についての学習	Kid's & More 淡海	29名	児童	ア
23	8月21日	10:00～ 11:30	夏休みエコバズーカを作ろう	大石公民館	15名	児童	カ
24	8月25日	13:30～ 14:30	夏のエコセミナー	金田公民館	10名	地域	オ
25	8月29日	13:30～ 15:00	夏休み親子環境教室「水物語 ～安全でおいしい水をみつけよ う～」	コミュニティセンタ ー大宝東	24名	地域	オ
26	8月29日	9:30～ 11:30	究極のエコバッグ (愛荘町生涯学習課)	ハーディーセンター 秦荘	8名	地域	オ
27	9月4日	13:55～ 15:30	食生活と環境について知ろう	近江八幡市武佐小 学校	35名	学校	オ
28	9月16日	10:00～ 12:00	環境学習プログラムに向けて (レイカディア大学)	レイカディア大学	10名	地域	ウ
29	9月19日	10:00～ 11:30	第2回キノコ観察教室「里山に 生えているキノコを見つけよう」	里山元気会	24名	地域	ア
30	9月19日	9:30～ 11:00	雲を作ってみよう (愛荘町生涯学習課)	ハーディーセンター 秦荘	14名	地域	イ
31	9月29日	10:00～ 11:30	甲良町職員研修1部 「地球温暖化にどう向き合うか」	甲良町役場	40名	地域	ア
32	9月29日	13:30～ 15:00	甲良町職員研修2部 「地球温暖化にどう向き合うか」	甲良町役場	34名	地域	ア
33	9月29日	10:45～ 12:20	「びわ湖ってイイやん！」	城西小学校5年1 組ふれあいホール	37名	学校	カ
34	9月29日	13:40～ 15:15	「びわ湖ってイイやん！」 「温暖化ってなあに？」	城西小学校5年2 組ふれあいホール	36名	学校	カ

35	9月29日	10:50～ 11:35	温暖化とヨシ	玉津小学校 5年1組	25名	学校	カ
36	9月29日	11:45～ 12:30	温暖化とヨシ	玉津小学校 5年1組	26名	学校	カ
37	9月29日	13:55～ 14:40	温暖化とヨシ	中洲小学校4年生	17名	学校	カ
38	10月4日	10:00～ 12:00	ロクハ・ウォッチングシリーズ (きのこ)	ロクハ公園	14名	地域	エ
39	10月16日	10:00～ 11:40	山の子学習事前学習「里山で 森林と環境について考えよう」	里山元気会	43名	地域	エ
40	10月17日	9:30～ 11:00	火おこし体験 (愛荘町生涯学習課)	愛知川公民館	6名	地域	イ
41	10月24日	10:00～ 11:30	第3回森の音楽会	里山元気会	35名	地域	イ
42	10月24日	10:00～ 11:30	ごみ減量とリサイクルに関する 学習会	栗東市危機管理 センター	50名	地域	イ
43	10月25日	18:30～ 19:30	エコドライブ講習会	今浜自治会館	20名	地域	オ
44	10月28日	13:00～ 14:00	令和2年度 KEMS 研修会 1部 (草津市役所)	アミカホール 2階	30名	地域	ア
45	10月28日	15:00～ 16:00	令和2年度 KEMS 研修会 2部 (草津市役所)	アミカホール 2階	30名	地域	ア
46	11月2日	13:00～ 14:00	令和2年度 KEMS 研修会 3部 (草津市役所)	アミカホール 2階	30名	地域	ア
47	11月12日	13:30～ 15:00	環境管理調査実習 I	淡海環境プラザ	8名	地域	ア
48	11月21日	10:00～ 11:30	エコドライブ講習会	竜王町エコライフ 推進協議会	10名	地域	オ
49	11月26日	13:50～ 14:30	温暖化とヨシ	マキノ東小学校	13名	学校	カ
50	11月29日	10:00～ 12:00	環境講座「究極のエコバック」	コミュニティセンタ ー治田東	14名	地域	オ
51	11月29日	11:10～ 11:30	わつなぎ食堂 3周年イベント	わつなぎ食堂	15名	地域	オ
52	12月1日	9:35～ 10:20	温暖化とヨシ	能登川西小学校	28名	学校	カ
53	12月4日	10:45～ 12:20	びわ湖の環境について知ろ う！	近江八幡市武佐 小学校	35名	学校	カ

54	1月14日	13:10～ 15:30	政策形成・施設演習	滋賀県立大学	38名	地域 (zoom)	ア
55	1月20日	10:00～ 12:00	ヨシのはたらきとびわ湖 (レイカディア大学)	淡海環境プラザ	12名	地域	カ
56	1月24日	14:00～ 15:00	きのこ自然観察研究 zoom	環境カウンセラー 協会	13名	地域 (zoom)	カ
57	1月28日	13:30～ 15:00	エコ・すまいる職場推進員研修 会グループ1	東近江市役所	23名	地域	ア
58	1月28日	15:30～ 17:00	エコ・すまいる職場推進員研修 会グループ2	東近江市役所	23名	地域	ア
59	1月29日	13:30～ 15:00	エコ・すまいる職場推進員研修 会グループ3	東近江市役所	23名	地域	ア
60	1月29日	15:30～ 17:00	エコ・すまいる職場推進員研修 会グループ4	東近江市役所	24名	地域	ア
61	2月25日	10:30～ 12:00	究極のエコバック	サイドタウン自治会 館	15名	地域	オ
62	3月17日	10:45～ 12:00	定例会・文化企画講座 「食品ロス削減の取り組み」	グリーンハイツ北町 自治会	13名	地域	オ

(講座内容)ア 温暖化による異常気象などの影響、問題について  
ウ 節電、省エネルギー、再生可能エネルギーについて  
オ 一人ひとりが実践できる環境に配慮した生活について

イ エネルギーの大切さについて  
エ 二酸化炭素吸収源としての森林の役割について  
カ その他低炭素社会づくりや環境問題に関する内容について

## 5. 滋賀エコ・エコノミー推進事業

### 事業所出前講座実績

- ・アンフェノールジャパン(株) (栗東市) 2回実施 47名出席  
「温暖化と生活の変化」

## 6. スマート・エコハウス普及促進事業補助金交付実績

(平成29年度)

申請件数 1,014件 補助金交付額 41,860千円 交付金予算額 45,400千円

(平成30年度)

申請件数 750件 補助金交付額 45,080千円 交付金予算額 45,400千円

(平成31年度)

申請件数 771件 補助金交付額 44,560千円 交付金予算額 47,400千円

(令和2年度)

申請件数 859件 補助金交付額 47,520千円 交付金予算額 47,400千円

スマートエコ製品別 申請件数

太陽光発電システム (補助金 4万円) 265件 (総出力 1,537.58kW)

エネファーム	(補助金 6万円)	168件
エコキュート等	(補助金 2万円)	254件
太陽熱利用システム	(補助金 2万円)	1件
家庭用蓄電池	(補助金 5万円)	430件
V2H	(補助金 4万円)	4件
窓断熱設備	(補助金 2万円)	6件

## 事業報告の附属明細書

### 水質保全に関する事業関連

#### 淡海環境プラザ出展者一覧

展 示 場 2					
1	水ingエンジニアリング株式会社 大阪支店	大阪市	15	一般社団法人滋賀県下水道管路 維持協会	大津市
2	日本メンテナンスエンジニアリング 株式会社	大阪市	16	日本ソフト開発株式会社	米原市
3	住友重機械エンバイロメント株式会社	東京都	17	オプテックス株式会社	大津市
4	積水化学工業株式会社	大阪市	18	株式会社堀場アドバンスドテク ノ	京都市
5	株式会社クボタ	大阪市	19	株式会社日吉	近江八幡市
6	高橋金属株式会社	長浜市	20	クボタ浄化槽システム株式会社	尼崎市
7	日新電機株式会社	京都市	21	メタウォーター株式会社	大阪市
8	前澤工業株式会社大阪支店	大阪市	22	三菱化工機株式会社	大阪市
9	ダイヤアクアソリューションズ株 式会社	東京都	23	株式会社近畿分析センター	大津市
10	関西オートメイション株式会社	大阪市	24	株式会社日水コン 大阪支所	大阪市
11	株式会社神鋼環境ソリューション	大阪市	25	株式会社NJS	東京都
12	滋賀バルブ協同組合	彦根市	26	阪神動力機械株式会社	大阪市
13	株式会社西原環境 関西支店	大阪市	27	日本ジッコウ株式会社	神戸市
14	東芝インフラシステムズ株式会社 関西支社	大阪市			
展 示 場 3					
28	公立大学法人 滋賀県立大学	彦根市	30	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター (REC)	大津市
29	立命館大学 研究部 BKC リサーチオフィス	草津市			